

アゼオトギリ News

最終刊

～咲かせようアゼオトギリ 広げよう笑顔の花～

アゼオトギリとは？
裏面へどうぞ

最終回！でもつながりは終わらない！

第14回アゼオトギリ保全勉強会の開催

令和6年6月29日（土）第14回アゼオトギリ保全勉強会を開催しました！勉強会は、開催10年を機に最終回となりました。

コロナをきっかけに対面とオンラインの同時併用にも慣れた中、アゼオトギリの生育や栽培状況について、地域団体、高校生、一般参加の方等と情報交換を行いました。アドバイザーとして有識者の先生方にも、ご参加いただき、モニタリング結果や保全活動へのご助言やご意見もいただきました。

10年間続けてきたモニタリングより、佐奈川に自生するアゼオトギリは、河原の氾濫原植物としての性質を強く持っていることもわかりました。大きな洪水のあとには、たくさん芽吹いて生育し、その後は、少しずつ何年もかけて数を減らしますが、再び大きな洪水が起こるのを待っているかも？と、そんな特性

記念撮影



web参加の様子



座学/生育状況の報告



移植地/桜づみ公園にてお手入れ

も10年間のモニタリングで示されました。

地域団体からは地域に定着したアゼオトギリの様子、県内外の高校生研究では栽培に関する工夫点や保全活動を通じたSDGsへの貢献について発表があり、意見交換と今後も保全活動を継続することを確認しました。

これまでの勉強会という形は終わりましたが、これまでのつながりを大事に、次世代へと繋げるために保全活動は続いています！

最終回！今後は5年ごとに実施！ モニタリング調査(春・夏・秋)

10年間続けてきた河川の自生地や移植地のモニタリング調査は、多くの知見が集まったということで、今年で最後の調査となりました。

今年のモニタリング調査結果（春・夏・秋）は、自生地も移植地も生育が確認されましたが、夏や秋では開花や結実の確認は少しだけでした。近年大きな洪水が起きていないためか、数が増える傾向はみられませんでした。

今後は、国土交通省が実施している「河川水辺の国勢調査」内にある5年ごとの河川環境基図作成調査、10年ごとの植物調査で生育状況を確認していきます。



調査の様子



移植地/立花尾橋にて(春)



(夏) 生長したが花の確認できず



(秋) 結実あり

3 住んでいる生き物で水質が分かる?? 佐奈川で水生生物調査!

秋の気配を少し感じる9月10日に、佐奈川地域の小中学校生たちが、佐奈川の水質を調べるために水生生物調査を行いました。水生生物?生き物で水質?



📷 水生生物採取

水生生物調査とは、水中の虫や貝などを捕まえ、水質の目安となる種の種類や数で、水質を判定する調査です。(国土交通省がS59年から地域参加団体の協力を得て実施しています。)



📷 薬品でも水質チェック

今年の佐奈川の調査結果は「ややきれいな川」でした。

子どもたちは網で川の中の生き物を捕まえてとても楽しそうでした♪きれいな川を守っていきたいですね♪

5 子どもたちにも学ぶ機会を! 地域の方々との環境学習できます!

佐奈川のある多気町地域の学校を対象に、地域の方々(地域団体)といっしょに希少植物の保全活動に取り組みませんか?

学校教育では、ESD(持続可能な開発のための教育)実践の場やSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みが必要となっています。その取り組みの一環として、希少植物の保全活動は、学校と地域が連携した環境学習の題材になると考えます。

座学や屋外活動、栽培箇所の見学などご希望に沿った学習内容もできます。

ぜひ、子どもたちにも環境保全の学びの機会を!

お問合せ、お待ちしております!



📷 地域の方と苗植え

アゼオトギリとは?

田んぼの畦や日当たりが良く湿った場所に生える多年草でオトギリソウ科の一種です。三重県内ではH25年に48年ぶりに発見されました。

自生での取扱いには届出が必要です

H29年3月31日三重県指定希少野生動植物種にアゼオトギリが指定されました。自生地からの採取、移植などの取扱いには三重県に届出が必要です。
※許可なく採取等行うことは条例違反となります。



アゼオトギリニュースHP

問合せ先 ●三重河川国道事務所
流域治水課 TEL059(229)2216

●多気町 町民環境課 TEL0598(38)1113
建設課 TEL0598(38)1116

(過去のアゼオトギリNewsは三重河川国道事務所HPIに掲載しています。 URL:<https://www.cbr.milt.go.jp/mie/river/region/azeotogiri.html>)

4 R6年度内発行予定! 10年間の活動報告書を作成!

令和3年1月、アゼオトギリ保全勉強会は5年間の活動報告書を発行しました。

あれからさらに5年が経ちました。10年を契機とし、これまでの皆さんの成果を整理した活動報告書を現在作成中です!

地域でのアゼオトギリ栽培の10年間の取り組み、高校生の研究成果、モニタリング調査により明らかになった生態など、見どころたくさんです!

R6年度内の発行を予定していますので、お楽しみに!



📷 福井県立坂井高校

6 ちょこっとひとネタ~多気町役場~ 三重県内で初! 第5回脱炭素先行地域に選定!

環境省が公募する「第5回脱炭素先行地域」に多気町、度会町、明和町、大台町、紀北町、大紀町が選定(R6.9.27)されました。なんと、三重県内で初の選定地域となりました!選定された地域の中で、多気町VISON周辺エリアがモデル地区となり、2030年度までにカーボンニュートラルを目指します!

脱炭素先行地域とは、2030年度までに民生部門のカーボンニュートラル(CO2排出実質ゼロ)の実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させ、全国に取組みを広げるモデルとなるものです。

これはみなさんと一緒に取り組むことが大事です!

小さなことでもOK!自分のできることを見つけてみましょう!



《いつでもお気軽にお問合せ下さい》

2016年から発刊してきましたNewsも最終刊となりました。佐奈川地域の取材や編集はとても楽しかったです。みなさんも楽しく読んで頂けたら幸いです。保全活動は繋がっています。またお会いしましょう。